



信太山丘陵 大阪のホットスポット

和泉市の北部、約300haの広さがあり、その殆どを戦前は陸軍、戦後は自衛隊の演習場として利用されてきました。そうした歴史もあり、里山的自然環境が奇跡的に残され、大阪府を代表する生物多様性が豊かな地域となっており、大阪の「生物多様性のホット・スポット」(多様性が豊かだが絶滅の危機にある)と云われています。

今、何が起こっているの・・・？

鶴山台団地に隣接する約16haが和泉市の市有地となり、市はその土地利用として、①サッカー場、野球場、テニスコート、駐車場(300台) ②公園広場 ③緑地 を検討しています。この地域は信太山丘陵を特長づける最も貴重な湿地や草原が点在し、植物や昆虫、野鳥などが多く、絶滅危惧種だけでも約30種を数えます。もし、サッカー場など大型の土地造成や建造物が建てられるとこれら湿地や草原は壊滅的な打撃を受け、里山的自然環境は失われていきます。

*市有地は、防衛庁(現省)がすすめた演習場内の「介在民有地解消事業」に関わり、和泉市が土地開発公社を介して、演習場内の田や畑、ため池など民有地を買い取り、平成16年、買い取った土地と演習場内の一部を等価交換したものです。

国から補助金はでるんやろか・・・？

当初、防衛庁(現省)は和泉市が事業化の際、土地には1/2、施設には2/3の補助金を出すとの約束だったということです。しかし、今日の国の財政危機は深刻で果たして補助金が出るかどうか疑問の声もあります。補助金が出なければ、市の財政状況からみて事業費(市の再生プランでは土地代を含め約32億円)は本当に妥当な事業なのでしょうか。スポーツ施設は変更し自然環境を活用した里山自然公園とすれば殆どが土地代程度ですみます。

国にとっても和泉市にとっても重要な選択と考えます。

スポーツ施設も欲しいけど・・・？

スポーツ施設は他の場所に造れても、里山の自然環境を他に造ることはできません。既存のスポーツ施設の改修や他の建設場所を確保して市民のニーズに応えるべきだと考えます。

絶滅危惧種は環境のバロメーター この豊かさを次のこども達へ

信太山丘陵
アクセス

JR阪和線

北信太駅 下車
徒歩20分 又は

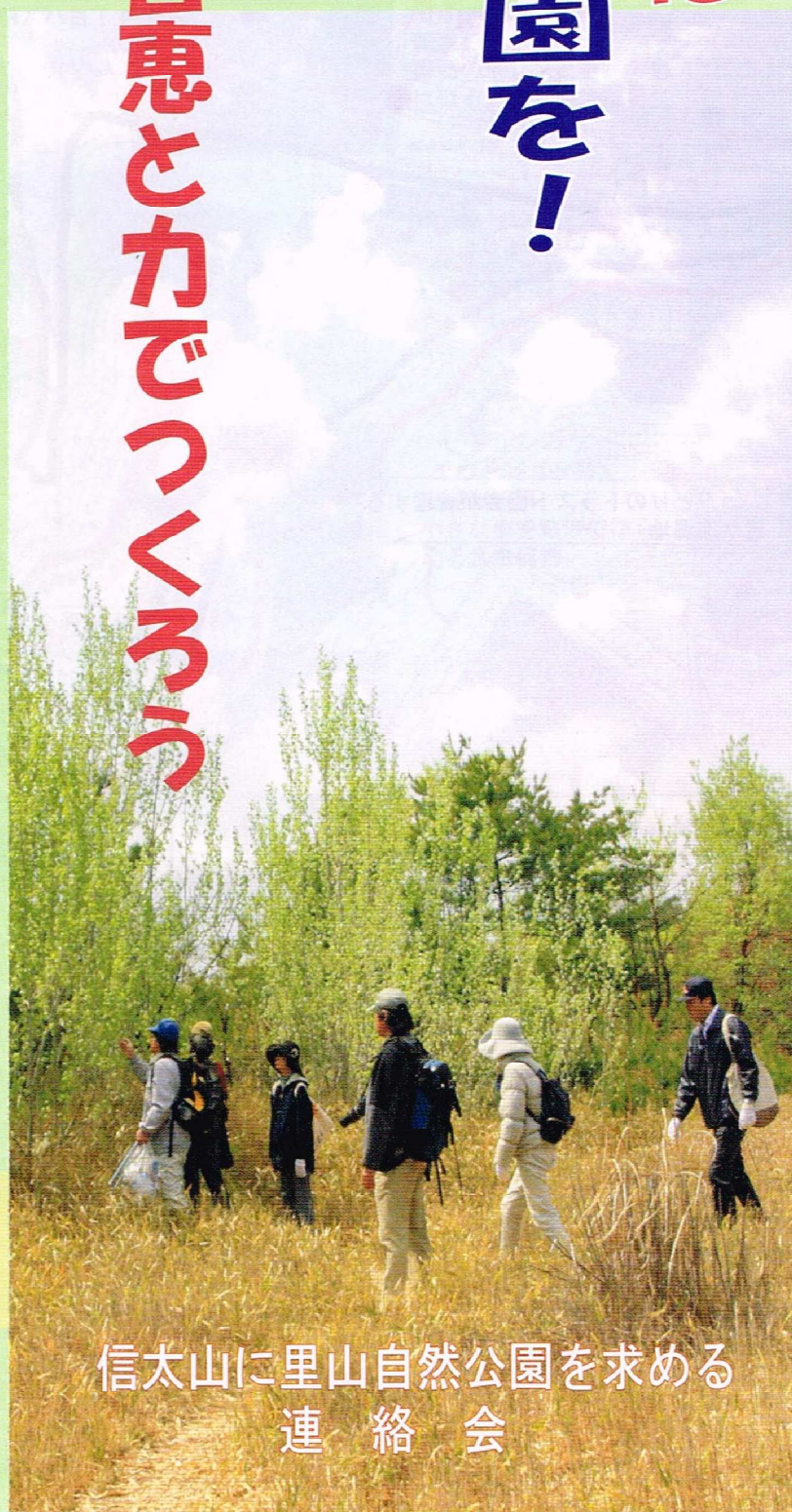
南海バス(北信太駅筋～鶴山台南小前)

信太山に里山自然公園を求める連絡会

大阪・和泉

みんなの
智恵と力で
つくろう

信太山丘陵に
里山自然公園を！



信太山に里山自然公園を求める
連絡会